

DF観光立国研究会 2024年6月度例会資料

インバウンド最前線報告

2024.6.3

三浦 陽一 ©

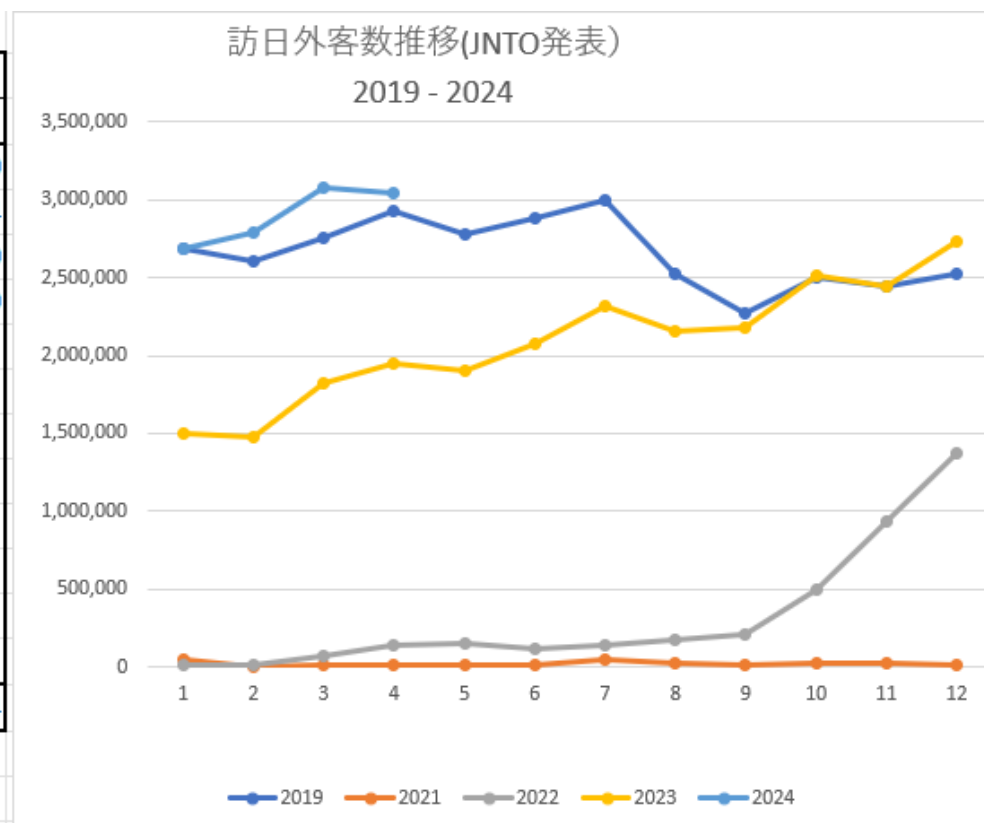
インバウンド最前線

・コロナ明け後の訪日外国人数： JNTO(日本政府観光局)データ

- 2024年に入っても訪日外国人数の勢いは衰えず、最初の4か月は過去最高の2019年を上回った。本年3月・4月は何れも300万人を突破し、過去最高の記録。

	訪日外客数				
	2019	2021	2022	2023	2024
1月	2,689,339	46,522	17,766	1,497,472	2,688,100
2月	2,604,322	7,355	16,719	1,475,455	2,788,224
3月	2,760,136	12,276	66,121	1,817,616	3,081,600
4月	2,926,685	10,853	139,548	1,949,236	3,042,900
5月	2,773,091	10,035	147,046	1,899,176	
6月	2,880,041	9,251	120,430	2,073,300	
7月	2,991,189	51,055	144,578	2,320,694	
8月	2,520,134	25,916	169,902	2,157,190	
9月	2,272,883	17,720	206,500	2,184,300	
10月	2,496,568	22,113	498,646	2,516,623	
11月	2,441,274	20,682	934,500	2,440,800	
12月	2,526,387	12,084	1,370,000	2,734,000	
合計	31,882,049	245,862	3,831,756	25,065,862	11,600,824

(出典： 日本政府観光局 (JNTO)データ)



インバウンド最前線

・オーバーツーリズムの現状(1)

嵯峨野の竹林への道は竹下通り並みの混雑



日光東照宮の入場券売場も長蛇の列(この日は休日)

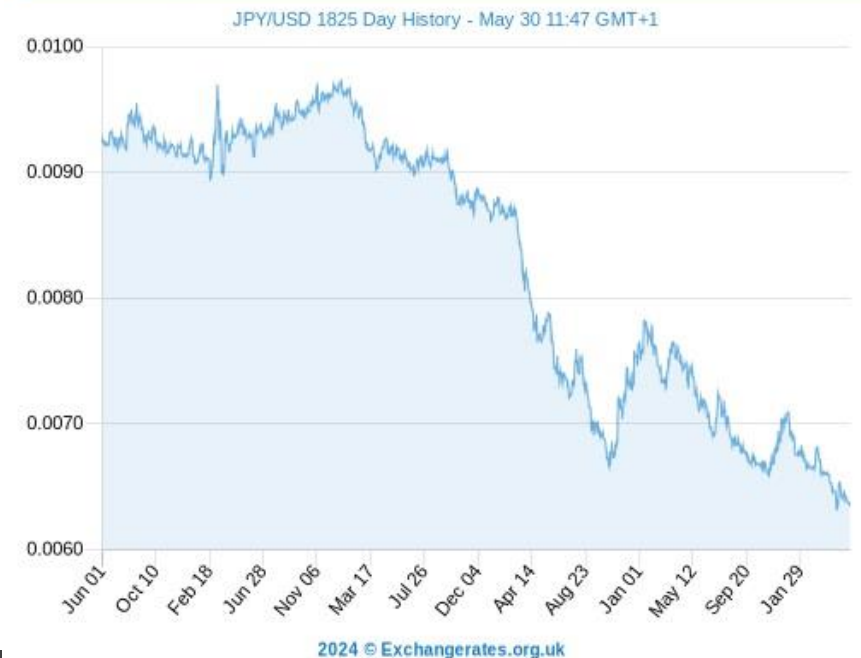


インバウンド最前線

・オーバーツーリズムの現状(2)

- オーバーツーリズムの原因はひとつではない、、、
 - 円安：最大の要因？
 - SNSの口コミ情報：日本人にとって「名所」となっていない場所に突然スポットが当たる
⇒ 対応インフラが不十分な所に 外国人が押し寄せて混乱(日本人と外国人の感覚のズレ)：伏見稻荷や嵯峨野の竹林、渋谷スクランブル交差点など
 - コロナ明けの日本人の旅行ブーム⇒海外旅行の割高感から国内旅行が大盛況⇒京都や鎌倉などの定番観光地の大混雑(政府方針も後押し)
 - 受入側の対応能力：人手不足、IC不足(未だにSUICA・Pasmoが販売できない)、IT化の遅れ(JRパスの手書き切り替え)

JPY USD Historical Charts



インバウンド最前線

・オーバーツーリズムの現状(3) : 対策・提言

●オーバーツーリズムへの対策は？⇒逆説的だが日本人の行動様式を変える方が早いかも？

- 日本人の観光行動を平準化できるような方策
(有給休暇取得推進、休日の見直し)
- 主要観光地・施設での予約制導入: イタリアのウフィツィ美術館などの前例あり
- JRパス運用の柔軟化・効率化(値上げと並行で進める)
- 公共WiFiの充実化
- スマホ対応アプリ等の導入推進で人の流れをスムーズに
: TeamLaboやシブヤスカイなどで導入
- 観光客と地元住民の人流を分けるような対策(京都市バス)

